

平成 31 年 度

高等学校入学者選抜学力検査問題

# 数 学

## 注 意 事 項

- 1 問題は、1 ページから 6 ページまであります。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。

1 次の(1)~(3)の問いに答えなさい。(12点)

(1) 次の計算をなさい。

ア  $-12 + 9 \div 3$

イ  $(-5a)^2 \times 8b \div 10ab$

ウ  $\frac{x+y}{3} - \frac{x-3y}{4}$

エ  $\sqrt{6}(\sqrt{6}-7) - \sqrt{24}$

(2)  $a = \frac{1}{7}$ ,  $b = 19$  のとき,  $ab^2 - 81a$  の式の値を求めなさい。

(3) 次の2次方程式を解きなさい。

$$(x+1)^2 = 3$$

2 次の(1)~(3)の問いに答えなさい。(6点)

- (1) 図1において、点Aは線分BC上にない点である。点Aを通り、線分BCが弦となる円の中心Oを作図しなさい。

ただし、作図には定規とコンパスを使用し、作図に用いた線は残しておくこと。

図1

A  
•

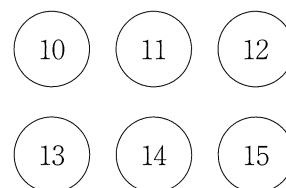
B ————— C

- (2) 1 m 当たりの重さが 30 g の針金がある。この針金の長さが  $x$  m のときの重さを  $y$  kg とする。 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

- (3) 袋の中に 6 個の玉が入っており、それぞれの玉には、図2のように、10, 11, 12, 13, 14, 15 の数字が1つずつ書いてある。この袋の中から同時に2個の玉を取り出すとき、取り出した2個の玉のうち、少なくとも1個は3の倍数である確率を求めなさい。ただし、袋から玉を取り出すとき、どの玉が取り出されることも同様に確からしいものとする。

図2

袋に入っている玉



3 ある中学校の3年1組の生徒32人について、2学期に保健室を利用した回数を調べた。表1は、その結果をまとめたものである。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。(3点)

(1) 利用した回数が1回以上の人は、全体の何%か、答えなさい。

表1

回数(回)	人数(人)
0	8
1	11
2	7
3	2
4	3
5	1
計	32

(2) 次のア～オの中から、表1からわかることについて正しく述べたものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 利用した回数の範囲は、6回である。
- イ 利用した回数の平均値は、1.5回である。
- ウ 利用した回数の最頻値は、5回である。
- エ 利用した回数の中央値は、2.5回である。
- オ 利用した回数の最小値は、0回である。

4 ある中学校では、遠足のため、バスで、学校から休憩所を経て目的地まで行くことにした。学校から目的地までの道のりは98 kmである。バスは、午前8時に学校を出発し、休憩所まで時速60 kmで走った。休憩所で20分間休憩した後、再びバスで、目的地まで時速40 kmで走ったところ、目的地には午前10時15分に到着した。

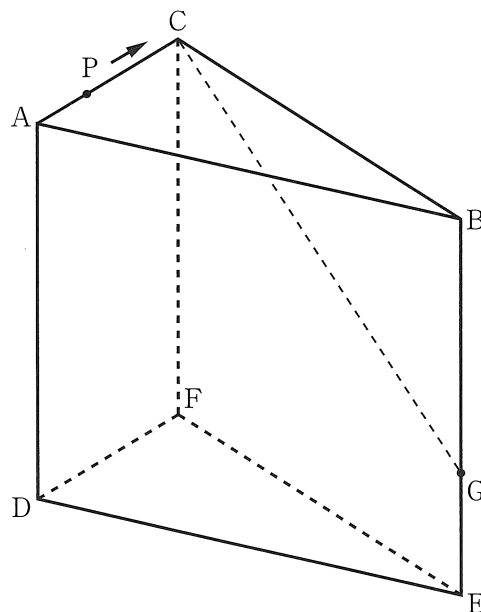
このとき、学校から休憩所までの道のりと休憩所から目的地までの道のりは、それぞれ何 km か。方程式をつくり、計算の過程を書き、答えを求めなさい。(5点)

5 図3の立体は、 $\triangle ABC$  を1つの底面とする三角柱である。この三角柱において、 $\angle ACB = 90^\circ$ ， $AC = 4\text{ cm}$ ， $CB = 8\text{ cm}$ ， $AD = 9\text{ cm}$  であり，側面はすべて長方形である。また， $BG = 6\text{ cm}$  となる辺  $BE$  上の点を  $G$  とする。点  $P$  は，点  $A$  を出発し，毎秒  $1\text{ cm}$  の速さで辺  $AC$ ，線分  $CG$  上を，点  $C$  を通って点  $G$  まで移動する。

このとき，次の(1)~(3)の問いに答えなさい。(7点)

- (1) 点  $P$  が辺  $AC$  上にあるとき， $\triangle PDF$  の面積を求めなさい。

図3



- (2) 点  $P$  が点  $A$  を出発してから3秒後のとき，四角形  $PDFC$  を，辺  $AD$  を軸として1回転させてできる立体の体積を求めなさい。ただし，円周率は  $\pi$  とする。

- (3) 点  $P$  が点  $A$  を出発してから9秒後のとき，線分  $PD$  の長さを求めなさい。

- 6 図4において、①は関数  $y = ax^2$  ( $0 < a < 1$ ) のグラフであり、②は関数  $y = x^2$  のグラフである。2点 A, B は、放物線①上の点であり、その  $x$  座標は、それぞれ  $-3, 2$  である。点 B を通り  $y$  軸に平行な直線と放物線②との交点を C とする。

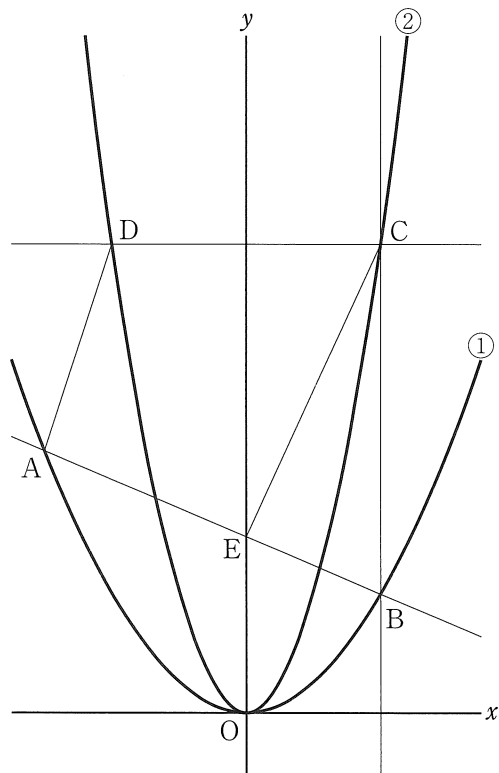
このとき、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。(8点)

- (1)  $x$  の変域が  $-1 \leq x \leq 5$  であるとき、関数  $y = ax^2$  の  $y$  の変域を、 $a$  を用いて表しなさい。

- (2) 点 C を通り、傾きが  $\frac{5}{2}$  である直線の式を求めなさい。

- (3) 点 C から  $y$  軸に引いた垂線の延長と放物線②との交点を D とする。直線 AB と  $y$  軸との交点を E とする。四角形 DAEC が台形となるときの、 $a$  の値を求めなさい。求める過程も書きなさい。

図4

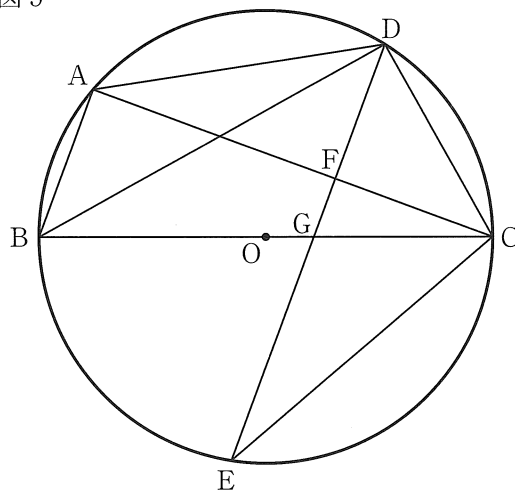


7 図5において、3点A, B, Cは円Oの円周上の点であり、BCは円Oの直径である。 $\widehat{AC}$ 上に点Dをとり、点Dを通りACに垂直な直線と円Oとの交点をEとする。また、DEとAC, BCとの交点をそれぞれF, Gとする。

このとき、次の(1), (2)の問いに答えなさい。(9点)

(1)  $\triangle DAC$  の  $\triangle GEC$  であることを証明しなさい。

図5



(2)  $\widehat{AD} : \widehat{DC} = 3 : 2$ ,  $\angle BGE = 70^\circ$  のとき、 $\angle EDC$  の大きさを求めなさい。